

令和4年度 大館市立花岡小学校 学校評価書(前期 ・ 年度)

A 学校教育目標

自立した子どもを育てる	
めざす児童像	人を大切にする子 学びを楽しみ、広げ深める子 チャレンジングな子

B 本年度の重点目標

◎ 課題対応能力の育成

C 学校経営の特徴

◇課題対応能力を育成する学校行事、児童会活動(チャレンジ活動) ◇明るく楽しい学級づくり ◇チャレンジ授業とベーシック授業 ◇開かれた学校づくり



花岡版子どもハローワーク
～花岡保育所 保育体験～



食育授業



防犯教室(不審者対応訓練)



花岡ドキワク夏祭り

D 評価

アンケート回答者 保護者39名、児童4、5、6年生35名、教職員10名

自己評価Aと外部評価の区分	きわめて良好	自己評価Bの基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 人を大切にする子どもの育成

健康な心と体をつくろうとするとともに、規範意識をもって自他の心や人間関係等を大切にする人間尊重の精神を育んでいる。	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期 おおむね良好	おおむね良好	家庭と連携しながら生活改善や健康づくりに工夫して取り組んでいる。今後は体力向上につながる取組や清掃への意欲に向けた取組を充実させてほしい。また、児童一人一人のよさや個性の伸長を図りながら個々の課題への支援をお願いしたい。
自己評価の改善の概要と	【前期(→年度)】	栄養士の先生を招いての食育指導や、学校歯科医による歯みがき指導など、外部の方による指導の際には、事前に声をかけて、保護者にも参加してもらえるような体制づくりを心がけたい。スポーツ委員会が企画したドッジボール大会は、運動に取り組む意欲を高めるという意味で、有効だった。2学期は体力向上のために、なわとび大会やマラソン大会など、目標をもって運動に取り組めるような企画を児童会に考えてもらいたいと思っている。また、縦割り班活動を通して、協力して掃除をしたり、ドッジボール大会に参加したりとよりよい人間関係をつくることができている。ただ清掃に関しては、班長を中心にがんばっているものの、班によって清掃の力量に差があることも確かである。班長に声をかけながら、上手く指導していきたい。	
	【年度(→次年度)】		

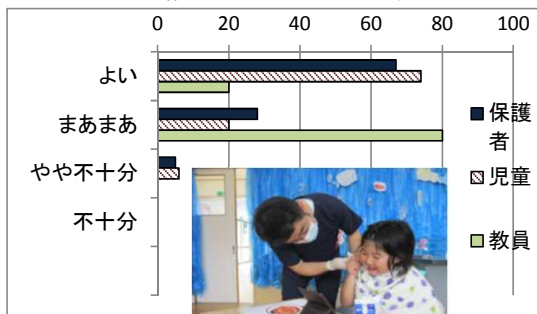
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 心身の健康づくり	(1)生活習慣向上に向けた実践	生活習慣指導、食育指導、保健・健康教育等	3	
	(2)継続的な体力づくりの取組と体力の向上	体力検定・なわとび運動等多様な遊びの奨励		
2 人間尊重の精神	(3)集団の一員としての自覚ある言動	縦割り班活動・委員会活動・学校行事等での活動	3	
	(4)明るさ・活力・自他を大切にする学級づくり	学級指導・学級活動の充実 こども哲学		

【1に関するデータ】

【保護者アンケート自由記述より】

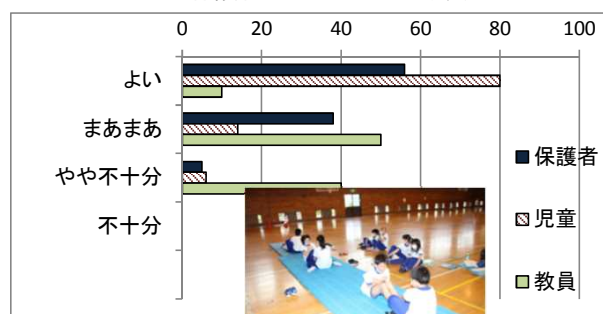
・帰宅後に学校での出来事や明日予定を自分から教えてくれ、楽しみにしている様子が伺える。

○生活習慣向上に向けた取組を行っているか。
(平均値 保護者3.62 児童3.74 教員3.20)



【学校歯科医による歯磨き教室】

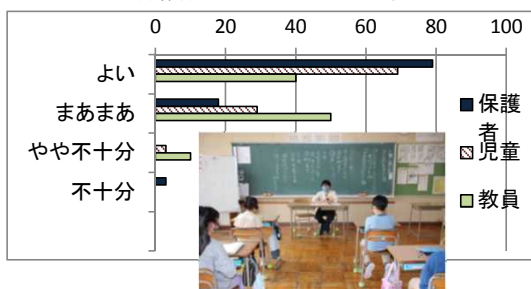
○継続的な体力作りに努めているか。
(平均値 保護者3.51 児童3.74 教員2.70)



【縦割り班での体力検定】

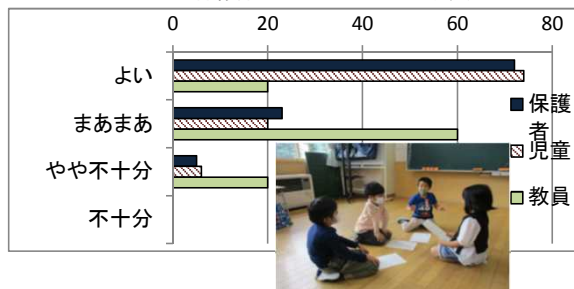
【2に関するデータ】

○集団の一員として自覚ある言動をしているか。
(平均値 保護者3.74 児童3.66 教員3.30)



【チャレンジ活動代表者会議】

○明るく活力ある学級づくりが行われているか。
(平均値 保護者3.67 児童3.69 教員3.00)



【おたよりの名前決め会議】

Ⅱ 学びを楽しみ、広げ深める子どもの育成

内発的動機付けに支えられた学びを楽しむとともに、互いの考えを共有したり多角的に考えたりするなど、学びを深める指導を行っている。	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント 保護者と職員と児童のアンケート結果の違いを探ってみるのもよいと思うが、学習習慣の定着と基礎・基本の徹底を保護者が強く望んでいるのは感じられる。読み書き、計算の力、学習に向かう心構えを確実に身に付けるよう取り組んでほしい。
	前期 おおむね良好	おおむね良好	
	年度		
自己評価の改善の概要と	【前期(→年度)】 教師集団の、チャレンジ授業の伝授・チャレンジ授業への挑戦に意気込みが感じられた。子どもたちの学びが充実するよう、よりスキルを高めていきたい。読み聞かせ活動に関しては読書活動が充実したと言えるが、図書室での読書の機会を増やしたり、毎日の読書タイムや週末読書を大事にして本好きの子どもたちを増やし、読む力を付けられるように取り組みたい。そして、今後も継続し、学校での取組の様子をどんどん家庭に発信していきたい。また、家庭学習ノートの内容を充実させるために、これからもノート展でお互いのノートを見合う機会を大事に取り組ませたい。		
	【年度(→次年度)】		

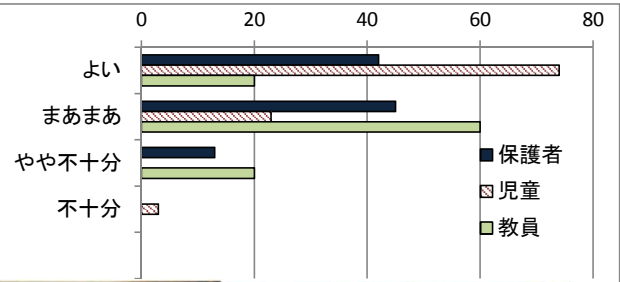
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 基礎・基本の定着	(5)基本的な学習習慣の定着	「学習の約束」「学び方」の徹底	3	
	(6)基礎・基本の徹底と学習内容の定着	基本を徹底する授業		
4 学びの多面化・深化	(7)多様な学びの保障	主体的に学び合う授業	3	
	(8)読書活動の充実	図書館まつり、各種読み聞かせ、読書運動等		

【3に関するデータ】

○基本的な学習習慣が定着しているか。

○計算、漢字、読み書きなど、学習の基本が身に付いているか。
(平均値 保護者3.29 児童3.69 教員3.00)

(平均値 保護者3.28 児童3.46 教員3.00)



【子ども同士の学び合い】



【「花矢図書館」「ミラクルバナナ」による読み聞かせ】

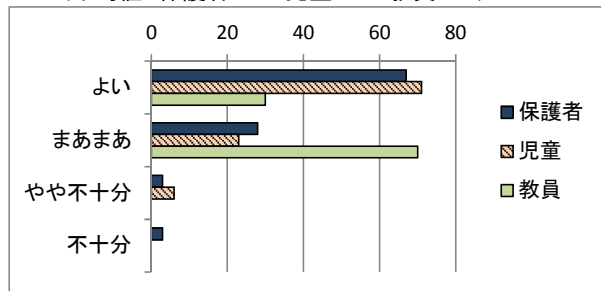
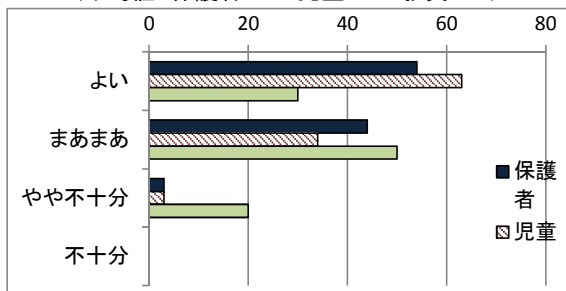
【4に関するデータ】

○学び合いの充実が図られているか。

(平均値 保護者3.51 児童3.60 教員3.10)

○読書活動が推進されているか。

(平均値 保護者3.59 児童3.66 教員3.30)



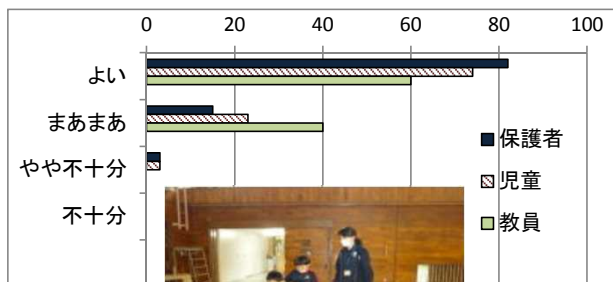
Ⅲ チャレンジな子どもの育成

自己評価A 学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント		
	前期	年度	
挑戦意欲をもち、連携する力と創造性を発揮しながら主体的に活動する子どもを育てている。	良好	良好	保護者、児童共に高評価で、学校行事等を通して子どもたちが成長していることが分かる。今後はさらに充実・発展を図り、「課題対応能力」や日常生活に、具体的ににつながるように期待したい。
自己評価の概要と善策と	【前期(→年度)】	6年生を中心としたチャレンジ活動の成功を目指し、全校児童、全職員が同じ方向を向いて取り組んだ。各学年に応じた校外学習や体験活動も充実していた。「チャレンジしたい」「自分たちでやりたい」という意欲がどの学年も高まっている。「課題を解決する力がついた」「周りを巻き込む力が付いた」など、自分自身にどんな力が付いたのかを自覚する児童が増えてきた。その力を、行事やイベントの時だけでなく、日常化できるよう、さらに繰り返し指導していく。また、SDGsはあらゆることにつながっているため、教師自身もSDGsを意識しながら様々な活動に取り組ませていきたい。	
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 チャレンジ精神の高揚	(9)チャレンジ活動(学年・全校)の推進と充実	課題対応能力育成のための各学年及び全校の実践	4	
	(10)創造性・連携する力の向上	創造性・連帯感を向上させる各種ミーティング 学級の係・委員会活動等の児童活動 SDGsへの取組	3	

【5に関するデータ】

○いろいろな活動に、勇気をもってつながり、チャレンジしているか
(平均値 保護者3.79 児童3.71 教員3.60)



【4年 福祉体験】

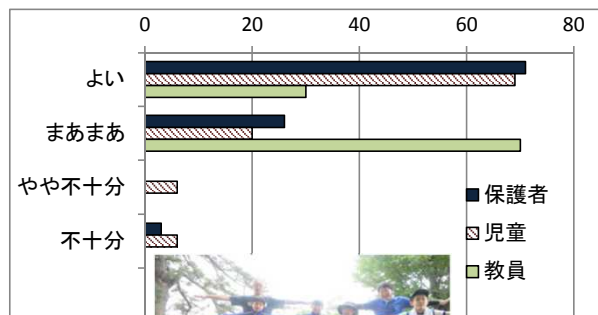
【保護者アンケート自由記述より】

・子どもたちの健やかな生活のため、コロナ対策等、気配りいただきありがたい。安心して学校生活を送っており、チャレンジ精神、リーダーシップ・フォロワーシップ精神も育てきていると思う。
・ドキワク夏祭り、保護者・地域の参加もあり楽しかった。どのクラスも工夫をし大きな声でお客さんを呼んで盛り上げていたことに子どもたちの素晴らしさを感じた。我が子の元気な声にも驚きとうれしさを感じた。
・6月の花火には感動。子どもたちの行動力、先生方のご指導・ご協力、すごいと思う。これからもチャレンジ見守ります



【花岡ドキワク夏祭り インタビューもドキワク】

○いろいろな行事で、自己有用感やよさの発見、発揮できているか。
(平均値 保護者3.66 児童3.51 教員3.30)



【励まし合って登った鳳凰山登山～4、5年自然教室】



【上級生が下級生によさこい伝授】



【6年修学旅行(3年ぶりの函館)】

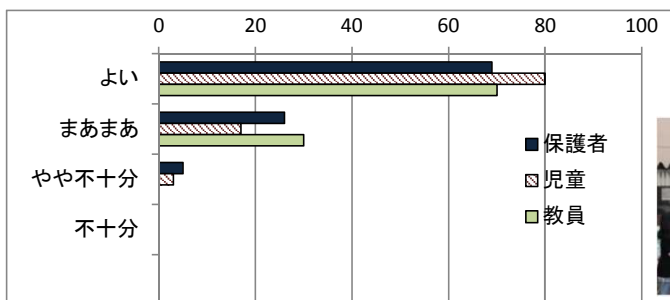
IV 保護者・地域との連携

学校の取組がわかりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	年度	
	良好	良好	地域の学校として連携した活動が多く、素晴らしい。また、学校が地域を大切にしていること、地域も学校を大切にしていることが分かる。保護者との関係も良好という印象である。今後もより前進を目指し、ブレーキとアクセルのバランスよく取り組んでほしい。
自己評価の改善の概要と	【前期(→年度)】 より地域に密着した活動として、外部指導者を招いたクラブ、空き缶・ペットボトルキャップ等のリサイクル、花岡版子どもハローワーク、読み聞かせボランティア、花矢図書館司書による読み聞かせや団体貸し出し、家庭科ボランティアと、たくさんの方に取り組んでいる。また公民館とタイアップして全戸配付している学校報を通じて学校行事等をお知らせすることにより、たくさんの方々に来校していただき、児童の見守りや支援等をしていただいている。今後も発信し続け、より地域の方々や保護者のみなさんとながった学校を目指したい。		
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 情報の受発信	(11)各種たより等の充実と学校開放	学校報・学年だより等での発信 HPの定期的な更新 学校開放や保護者アンケートでの受信	4	
7 地域との連携	(12)地域に対する愛着心や誇りを高める実践	学習・クラブでの人材活用 花岡ドキワク夏祭り、地域探検、職場体験、花小子どもハローワーク等	4	

【6に関するデータ】

○学校報、学年だより、各種のおたよりは充実しているか。
(平均値 保護者3.64 児童3.77 教員3.70)



【職員アンケート自由記述より】
・地域の方のご協力ありがたい。特にクラブのクオリティが高い。
・保護者の方はお忙しい中、PTAの一人一役(それ以上)を引き受けてくださりありがたい。
・アルミ缶集め等、校内だけではなく地域の方も交えて取り組んでいるのがよい。保護者の方々も大変協力的でありがたい。
・クラブでの人材活用であったりドキワク夏祭りの協力であったりと地域の方々との連携の大切さを学んだ。



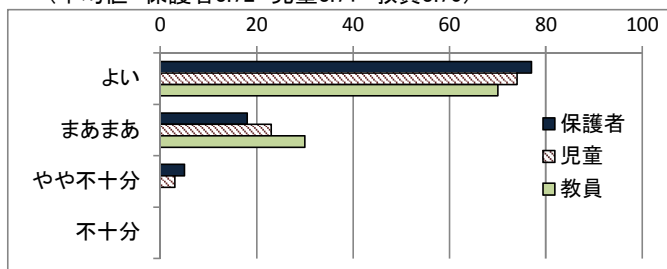
空き缶集め(3年から地域へ)



【家庭科ボランティア】

【7に関するデータ】

○地域人材の活用、愛着心や誇りを高める実践がなされているか。
(平均値 保護者3.72 児童3.71 教員3.70)



【全クラブ活動が地域の方を先生に(お茶クラブはじめ全5クラブ)】



【公民館窓拭きボランティア】



【花岡版子どもハローワーク(パティシエ体験・司書体験)他に保育士体験・ダリア農家体験・自動車整備体験】